

# 平成 26 年度庄原市学校図書館研修会

平成 26 年 4 月 10 日 (木) 庄原市田園文化センター 2 階 多目的ホール

図書館担当者と学校司書が、庄原市における読書活動に係る取組の成果と課題及び教育行政施策（子どもの読書推進計画等）を理解し、学校図書館と地域図書館等の連携の在り方を研修することを通して、各学校における学校図書館の充実を図ることを目的に、研修会を行いました。

## 【内容】

### ○講話 庄原市田園文化センター 館長 松園 真

#### 「学校図書館の充実に向けて」

学校図書館法から学校図書館の役割などについて研修をした。田園文化センターの活用状況を知り、学校司書や地域図書館との連携について理解を深めた。



### ○講話・演習・協議 庄原市教育委員会教育指導課 指導主事 松田 千秋

#### 「庄原市における読書活動の取組について」

庄原市における読書活動に係る児童生徒の実態や教育施策を知り、今年から配置した 4 名の学校司書の役割について研修を深めた。

#### 「各学校における課題を踏まえた学校図書館の充実に向けた取組について」

学校司書配置エリア毎にグループ協議をした。各学校の児童生徒の読書活動の実態や学校図書館の環境にかかわる課題について出し合い、具体的な取組を交流した。

「庄原の子はいつも鞆に読んでいる本が入っている」姿を目指して頑張ろうと思う。（参加者の振り返りより）



（参加者の振り返りより）

- ◆ 参考になる各学校の取組がたくさんあり、本校の実態に合うようにアレンジをして、できるところからやっていきたい。
- ◆ 他の図書館へ行くことで展示の仕方など参考になることが多い。連携をしっかりとしていきたい。
- ◆ 本を読まない児童生徒が多くいることを課題とし、読書指導の在り方を考えたいと思った。

（参加者の振り返りより）

- ◆ 学校司書の配置は、学校図書館充実に向けての第一歩だということが分かった。
- ◆ 子供たちが「行きたい」と思えるような環境整備を学校司書の先生と一緒に作りたい。
- ◆ 学校司書の配置は大変心強い。関わり方を示していただき、参考になった。
- ◆ 図書館担当者と学校司書が連携をする時間を確保する必要がある。
- ◆ 司書教諭の配置、蔵書のデータベース化なども願いたい。